

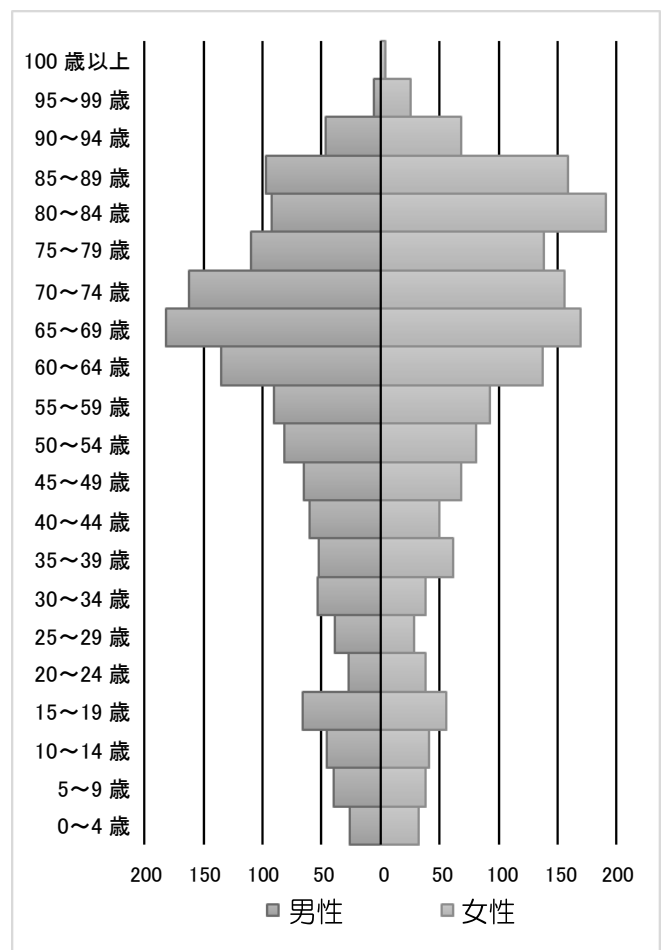
■ 城川地区

統計で見る地域の特性

人口	3,148
世帯数	1,475
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	223
生産年齢人口	1,319
老年人口	1,606
(うち75歳以上人口)	937
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	51.0%
要支援認定者数	117
要介護認定者数	269
自治会数	60
サロン数(高齢者)	11
民生・児童委員数	22
(1人当たりの世帯数)	67.0

※ 特別養護老人ホーム(寿楽苑)、養護老人ホーム(奥伊予荘)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

開催日	1回目 令和元年8月20日(火)	2回目 令和元年10月29日(火)
会場	総合センターしろかわ 2階 大会議室	



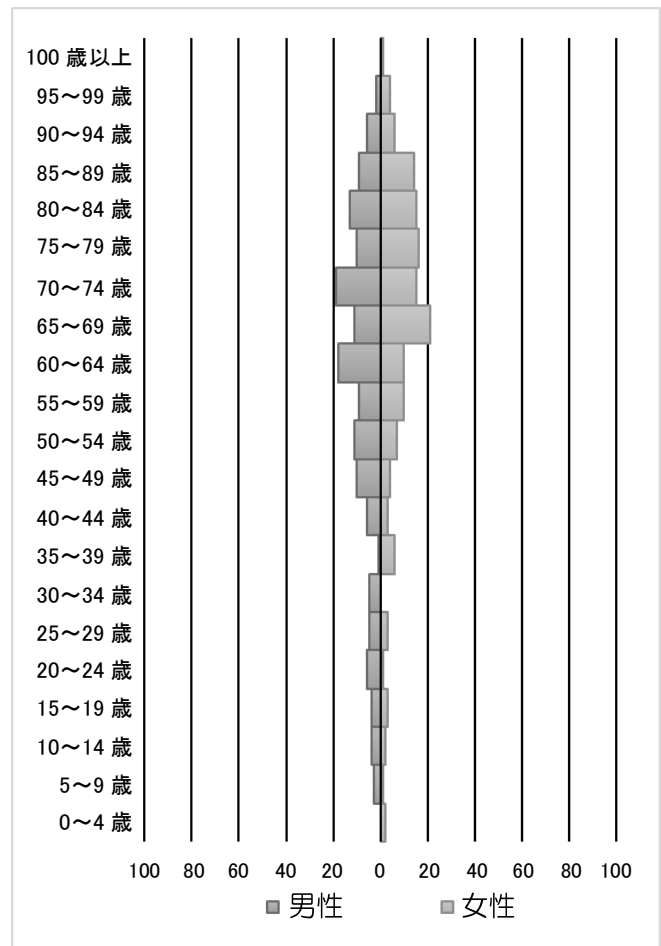
城川町 遊子川地区

統計で見る地域の特性

人 口	296
世帯数	140
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	12
生産年齢人口	122
老年人口	162
(うち75歳以上人口)	96
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	54.8%
自治会数	11
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	3
(1人当たりの世帯数)	46.7

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

遊子川地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・トマトがおいしい
- ・企業組合「遊子川ザ・リコピンス」ができた
- ・特産品がたくさんできた
- ・農家レストラン「食堂ゆすかわ」

【健康・医療】

- ・健康体操教室
- ・グランドゴルフ「やまびこ大会」を実施

【地域活動・教育】

- ・七つ鹿踊り・施食会・ねんぶつ踊り
- ・子育て支援「ゆすかわっ子よりみちクラブ」
- ・木工施設「ユスモククラブ」
- ・三世代交流

【防災・安全】

- ・消防団活動がある
- ・女性防火クラブがある

【生活環境】

- ・自然が豊富(雨包山・あじさい・ホテル等)
- ・デマンドタクシーが活用できる
- ・地域住民らによる環境整備を行っている

【その他】

- ・地域住民のまとまりがあり協力的
- ・地域の方は顔見知りで声かけられる
- ・映画「ゆすかわ食堂」を作った

遊子川地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者問題 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は通院が大変 <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減による各種団体のかけもちがある ・役員、各種活動において一人ひとりに負担がかかりすぎる ・老人クラブに入会する人がない ・高齢化で集落の活動が難しくなっている 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に孤立する可能性が高い ・携帯が入らない場所がある ・ラジオが入らない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々、草刈りがつらい ・雑草を取り除く事ができない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の移動（運搬）を頼める人がいない
---	---

これからの遊子川地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること	期間
・災害時に孤立する可能性が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災活動 ・避難訓練 ・消防団、女性防火クラブ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡先の把握 ・普段からの声掛け ・防災マップの見直し 	1年
・高齢者は通院が大変	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシー 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの利用促進 	
・各種団体・役員のかけもちがあり負担が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の回数を減らす ・同日で会議を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の見直し 	1年～5年
・共同作業の負担が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ・回数を減らしている ・作業内容の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に協力をお願いする 	1年～5年
・物の運搬が困難		<ul style="list-style-type: none"> ・業者に依頼 	

社協からのコメント

<p>地域宣伝のために制作された映画「食堂ゆすかわ」は、市内外の多くの方に鑑賞され話題を集めた。映画の中にも出てくる町内最高峰の「雨包山」やアジサイも有名。特産のトマトを活かしたりコピンス商品の販売や「食堂ゆすかわ」は農家レストランの立ち上げの基となった。木工施設「コスモクラブ」では木工に興味のある方たちが入会されている。</p> <p>そのような活気にあふれている遊子川だが、山に囲まれた自然豊かな場所ゆえに災害時に孤立する可能性が高いと心配している声が聞かれる。また、高齢化が進み、通院が困難だったり集落の活動が難しくなりつつあるという課題もある。地域が一体となって取り組みを実践していくことが重要なことと思われる。</p>

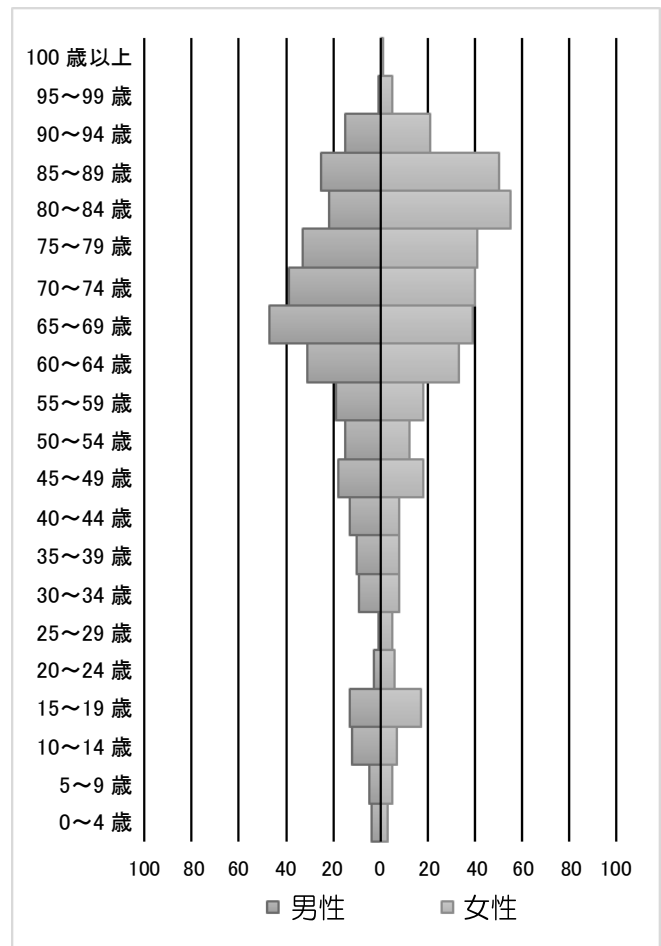
城川町 土居地区

統計で見る地域の特性

人口	735
世帯数	394
(1世帯当たりの人数)	1.9
年少人口	36
生産年齢人口	265
老年人口	434
(うち75歳以上人口)	269
高齢化率(小数点第2位四捨五入)	59.0%
自治会数	20
サロン数(高齢者)	3
民生・児童委員数	6
(1人当たりの世帯数)	65.7

※ 老人ホーム(奥伊予荘)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

土居地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・栗農家がたくさん
- ・柚子の生産が多い

【健康・医療】

- ・土居診療所がある
- ・奥伊予荘がある

【地域活動・教育】

- ・病弱者・高齢者からの依頼で、草刈り作業
- ・独居高齢者に対する地域の見守り
- ・雪が降った時、好意で除雪してもらう
- ・伝統行事(八つ鹿)の保存活動
- ・近くの子どものことがよく分かる(見守りなど)

【防災・安全】

- ・自主防災組織がある
- ・治安が良い

【生活環境】

- ・郵便局がある
- ・自然が豊かで、空気がきれい
- ・車の渋滞が無い

【その他】

- ・あいさつをしたら、あいさつしてもらえる
- ・子どもを可愛がってくれる
- ・女性がコミュニケーションが上手で元気
- ・年配の方が元気に畑や田んぼをしている

土居地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に働く場所がほとんどない ・繁忙期の人手不足 ・耕作地の維持管理が困難になってきている <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が急病になった場合の不安 ・独居高齢者の出不精 <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落内の役員の成り手が少ない ・高齢者のゴミ出し（特に粗大ゴミ）が課題 ・高齢者が日々の食糧品など、生活に必要な物資の確保が困難 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の高齢者の避難が心配 ・家に鍵をかけない ・消防団のなり手不足 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族（子ども）が遠くに住んでいる ・買い物、通院が不便 ・車、マイピア必需品 ・バスの便が少ない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多い ・将来、集落の維持が危ぶまれる
--	--

これからの土居地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
・災害時の高齢者の避難	・自主防災組織の活動	・防災マップ（災害弱者）の作成 ・安否確認と非難の呼び掛け
・買い物、通院が不便	・買い物の乗り合わせ	・買い物ツアー ・ネットなどを使った、買い物の代行
・高齢者の病気	・声掛け、見守り	・日頃から、気軽に助け合える関係づくり ・地域での情報共有
・独居高齢者の生活の不安	・給食サービス（民生児童委員） ・孤食を防ぐ食事会（婦人会）	・日頃から、気軽に助け合える関係づくり ・地域での情報共有
・高齢者のゴミ出し	・高齢者の粗大ゴミの収集（ボランティアで）	・粗大ゴミ回収のボランティア活動の継続 ・ゴミの分別のお手伝い

社協からのコメント

自然が豊かで暮らしやすく、住民同士のコミュニケーションも活発に行われ、あいさつをしたり、草刈りや除雪、粗大ゴミの回収など地域で助け合える関係性を築くことが出来ている。また、伝統行事の保存活動など、地域活動も活発に行われているようである。一方、高齢化や人口減少により地域の役員の成り手不足や空き家が増えるなどの問題があり、また、一人暮らし高齢者の買い物や通院の不便さ、病気になった時や災害時の不安などの課題もある。しかし、住民同士の繋がりが強く、お互いに顔の見える関係が築かれていることから、今後もこのような関係性を維持して、課題の解決に向けて、より一層、地域での助け合い活動を活性化されるように期待したい。

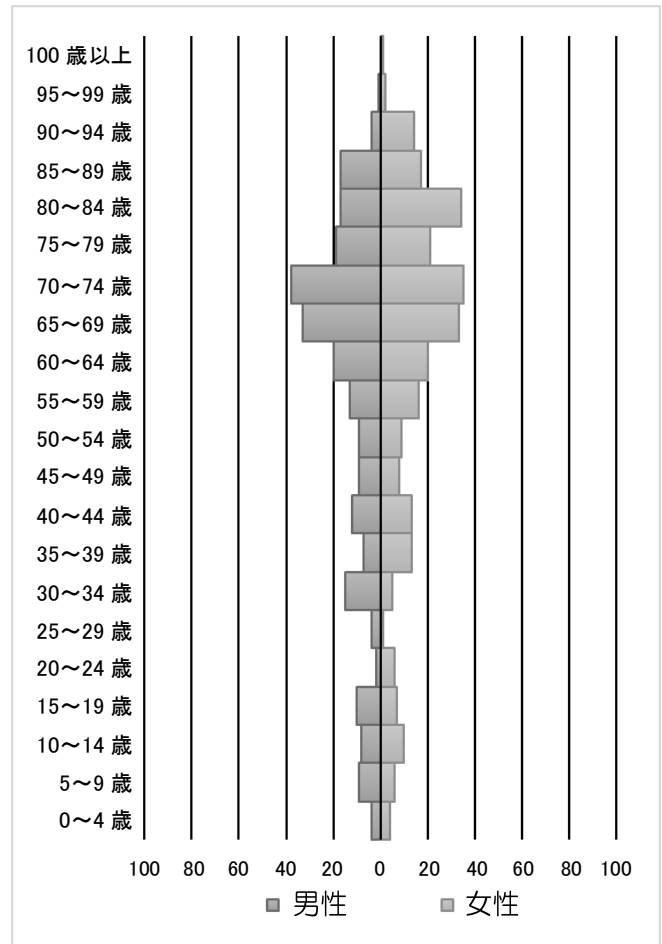
城川町 高川地区

統計で見る地域の特性

人 口	526
世帯数	246
(1世帯当たりの人数)	2.1
年少人口	41
生産年齢人口	199
老年人口	286
(うち75歳以上人口)	147
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	54.4%
自治会数	11
サロン数(高齢者)	1
民生・児童委員数	3
(1人当たりの世帯数)	82.0

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

高川地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・木下牧場に若い人が従事されている
- ・城川ファクトリー・今村センター等仕事の受け皿がある

【健康・医療】

- ・レクバレーや体操教室等がある
- ・温浴施設がある・フットパスがある
- ・クローケーやグラウンドゴルフをしている

【地域活動・教育】

- ・婦人会が活動していて女性が元気である
- ・近所付き合いが密である
- ・交流人口が多い(フットパス他)

【防災・安全】

- ・防災の意識が高い(訓練を毎年実施)
- ・消防署員が多い
- ・避難情報で避難所に来る人が増えた

【生活環境】

- ・レストラン・食堂がある
- ・歴史的遺産・自然の遺跡が多い
- ・自然が豊か

【その他】

- ・伝承活動ができている(子ども念仏・秋祭り等)
- ・デマンドタクシーがある

高川地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の日直・宿直・プール監視員等の募集が大変 ・林業の担い手が少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クアテルメ宝泉坊が存続の危機 ・総合病院が近くになく不安である <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域での負担が増えている ・役員になると、色々な地域活動に参加することが多く大変な時もある 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の新人がいない ・家が山際にあり、危険なところが多すぎる <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物するのに不便である ・車の運転ができないと、出かけられない ・耕作放棄地が増えている <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お寺の維持が難しい（川津） ・不要ではないかと思われる役がある（結婚相談員等）
---	--

これからの高川地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地が増えている ・道路を含む草刈りが大変 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2～3回一帯に1人が道作りを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントとして行う ・小部落でなく、大きな単位で行って慰労会をする ・動ける人はみんな出してもらう
<ul style="list-style-type: none"> ・役員になるといろいろな地域活動に参加することが多く大変 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の再編を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の世代は、地区の垣根を越えて活動（若者に期待） ・地域全体でバックアップ
<ul style="list-style-type: none"> ・クアテルメ宝泉坊が存続の危機 	<ul style="list-style-type: none"> ・署名活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元利用を促す ・サロン活動に利用 ・地域づくり活動とタイアップ（桃まつりなど）PRをする
<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域での負担が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ苦にならないように、楽しくできるようなやり方で行っている ・交流人口を増やしている ・子どもたちと一緒にいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体でバックアップし現在の組織を継続出来るようにする

社協からのコメント

高川地区には、温浴施設、竜馬脱藩の道等、地域資源が多くある。「桃源郷の里づくり事業」や「お試し移住専用住宅」などを拠点とする移住交流の促進がされており、少子高齢化する地域の活性化につながっている。また、愛護班活動が活発で、子どもを地域で育てる福祉の地域づくり活動になっている。

しかし、過疎化に伴う集落再編も考える時期になっている。若者の世代は、地区の垣根を越えて活動しているということなので、地域を担う若い世代に期待しているが、中高年・高齢者の支援が必要と思える。日頃のつながりが強く、助け合いのできる地域になっている。

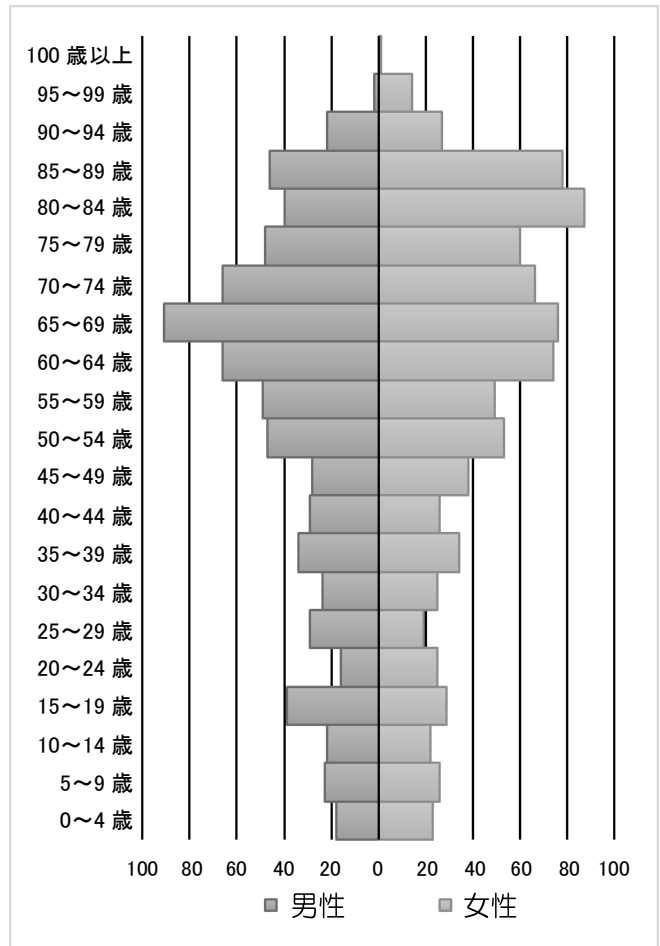
城川町 魚成地区

統計で見る地域の特性

人口	1,591
世帯数	695
(1世帯当たりの人数)	2.3
年少人口	134
生産年齢人口	733
老年人口	724
(うち75歳以上人口)	425
高齢化率(小数点第2位使四捨五入)	45.5%
自治会数	18
サロン数(高齢者)	6
民生・児童委員数	10
(1人当たりの世帯数)	69.5

※ 特別養護老人ホーム(寿楽苑)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

魚成地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・稲作、ゆず栽培が盛ん
- ・脱調組合がある

【健康・医療】

- ・ラジオ体操が流れる
- ・クロッカー、レクバレー、体操教室等で健康づくりに取り組んでいる

【地域活動・教育】

- ・華取り踊り等の伝統行事や駅伝、ミニバレー大会等の行事を行う
- ・地域づくり協議会で夕涼み会等に取り組む
- ・サロンで高齢者の見守りをしている

【防災・安全】

- ・自主防災会での避難訓練の実施
- ・消防団活動が活発で、点検や見守り等を行う
- ・支障木の除去を行っている

【生活環境】

- ・龍澤寺緑地公園があり、自然が豊かで、ホタルが飛ぶ
- ・道作り、草刈り、クリーン運動で環境整備
- ・鳥獣駆除を行っている
- ・福祉バスが運行している

魚成地区の課題

<p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ゆずの収穫の人手不足 • 働くところがない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 病院・歯科医院がない • 独居高齢者が増えている <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 婦人会の会員が少なくなった • 地域活動の役が多い • 組入りしない人がある • 年代ごとの考え方の違いがある 	<p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 防災倉庫の設置がない地域もある • 災害時、自力での避難が困難な人が多い • 消防団員の減少（日中の団員不足） <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 道作りの人手不足、花壇の管理が困難に • 福祉バスのバス停まで遠く、移動手段がない • 食料品店がない • 空き家が多い • 駆除しているが、鳥獣が多い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 魚成地区広い、総務区・組の活動のバランス
--	--

これからの魚成地区を考える

課 題	地域で行っていること	地域で出来ること
• 地域活動の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> • おこもり、敬老会等地区で • 組入りや消防団への勧誘 • 夕涼み会等、地区行事と慰労 	<ul style="list-style-type: none"> • 各地区単位で行っているイベントを魚成全体で行う ⇒世代間交流を図る
<ul style="list-style-type: none"> • 独居高齢者の増加 ⇒声かけ・見守りについて 	<ul style="list-style-type: none"> • 給食サービス、各サロン • 常会、行事の呼びかけ、近所でのおすそわけ等の声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> • 若い世代もサロン活動の周知 • 地域で見守り隊を発足
<ul style="list-style-type: none"> • 病院がない ⇒健康づくりについて 	<ul style="list-style-type: none"> • 検診・健康相談の活用 • (個人) 体操やウォーキング(地区) 運動会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> • ウォーキングコースを整備し、成果を披露する大会を開催(日頃か運動の機会を増やす)
• 防災について	<ul style="list-style-type: none"> • 消防団・自主防災会 • 防災備品の整備 • 防災マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> • 防災マップの更新 • 大規模な避難訓練の実施 • 災害時、要援護者支援
• お店(食糧品)がない	• 移動店舗(ひがしくん)利用	<ul style="list-style-type: none"> • 地域で販売所を運営 • 効率的な品物の配送システム

社協からのコメント

少子高齢化により、地区の良いところと課題を見ると、道作り・花壇の整備、鳥獣駆除を実施しているが、人手不足などにより困難になっていたり、福祉バスが整備されていても、バス停までの移動手段がなかったりと、問題に対応しきれていない現状がうかがえる。

高齢者の集いの場、見守り活動のひとつにサロンが挙げられたが、「サロンとは何?」という声があり、サロン活動について幅広い世代に情報発信をし、活動について知っていただきたいと痛感した。隣近所でのおすそ分けや常会での声かけが、地域での見守りに繋がっている。このような地域の日々の見守りの基盤を活用し、さらに世代間交流を図り、地域の連携を密にすることが、安心して生活できる地域づくりに繋がるのではないかと考える。